

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



## 病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271  
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



## 院長就任あいさつ

2022年4月より、向井恵一前院長の後任として院長を拝命いたしました。医学部卒業後、神奈川県西部で、脳卒中・頭部外傷の急性期医療と脳腫瘍の手術などに従事しておりました。

横浜新緑総合病院は、急性期病院として安心で安全な標準治療を迅速に提供してまいりました。今後も診療各科が連携し、総合病院の特徴を生かし、地域医療に貢献いたします。当院には、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士などに加え、医事課など事務系職員を合わせ約660名の職員（非常勤を含む）が在籍しております。それぞれの専門職がお互いの意見を尊重し、チーム医療を行っております。病床数は236床と中規模病院ですが、この規模は職員同士の顔が見える連携に好都合で、また声掛けも気軽に行える環境です。この素晴らしいチームをまとめ、職員のワークライフバランスも向上させながら、患者さまには笑顔で病院を後にしていただけるような職場を作ります。



病院長 松前 光紀

しかし横浜新緑総合病院は独立して存在するものではありません。最も大切なサポーターは、地域医療の第一線におられる一般医家（開業医）の先生方です、ご紹介いただく患者さまには丁寧に対応し、また継続した診療が必要となった段階で、当院より診療をお願いいたしますのでよろしくお願いいたします。次は行政、特に救急救命士の方々の理解です。当院へは、横浜市北西部、大和市、相模原市、町田市、川崎市から救急車による搬入があります。当然、救急要請に、気持ちよく、かつ迅速に対応するこれまでの姿勢を職員に浸透してまいります。

また、患者さまの目には直接留まらないのですが、CTやMRIの画像を専門に診断し、報告書を作成する放射線科の専門医が在籍しております。時に自身の専門領域に注目し、近くにある専門外の病変を見逃す可能性もゼロではありません。診療担当医と放射線科医師が4つの眼で診ることは重要です。日中は診察医の求めに応じ緊急のレポート作成も行っております。どうぞ患者さまは安心して画像診断を受けてください。さらに一般医家の先生には、画像検査予約を放射線科直通で利用いただけます。

そして当院では、人間ドックや健診も積極的に行っております。女性医師も在籍しておりますので、受診者の立場での相談対応を心がけております。最近脳ドックに加え、MRIを用いた「痛くない乳がん検診」を開始いたしました。これらオプションだけのお申し込みも可能です。ご検討いただければ幸いです。

病院長としての所信は、①ホームページに公開している診療データを向上させる、②患者さまが笑顔で帰れるチーム医療を心がける、③職員がワクワクした気持ちで働ける環境を作る、④安定した経営状態を維持するなどであります。

今後とも横浜新緑総合病院をよろしくお願いいたします。

## 総合患者支援センター

当院は2022年4月に総合患者支援センターを開設しました。松前院長がセンター長となり、従前からある「地域医療連携室」「医療相談室」「入退院支援看護」「患者相談窓口」を統合し、患者さまにより良い医療を受けていただくため総合的な支援を行ってまいります。患者さま・ご家族さまに寄り添って医療・福祉・看護相談などに対応するとともに、地域の保健・医療・福祉機関などと親密な連携を図り、患者さまが安心して療養生活を継続していける医療サービスの提供を目指しています。



## 4月入職 常勤医師のご紹介

※ ご挨拶と写真は5月号に掲載します。

### 《 消化器内科 》 白井 孝之 (しらい たかゆき)

- 日本内科学会 総合内科専門医 ● 日本消化器病学会 専門医
- 日本消化器内視鏡学会 指導医・専門医 ● 日本大腸肛門病学会専門医 ● 医学博士

### 《 循環器科 》 手塚 信吾 (てづか しんご)

- 日本内科学会 認定内科医 ● 日本心血管インターベンション治療学会 認定医
- 日本循環器学会認定 循環器専門医



## 部門紹介 2022 | リハビリテーション部 理学療法

リハビリテーション部 科長 加藤 潤

リハビリテーション部には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3つの専門職が在籍しています。今回は理学療法士について紹介します。

理学療法士は、寝返りや起き上がり、立ち上がって歩くといった基本的な動作をできるよう治療や練習を行う、もしくは代わりになる方法を考える専門職です。

治療として、医師から処方された運動を用いる運動療法、電気や温熱など物理的なエネルギーを用いた物理療法を行います。そして普段の日常生活を営むための基本動作練習を行います。また、当院の理学療法の特徴としては、関節の

動きや働きを良くする『関節運動学的アプローチ-博田法』を運動療法として行っているところです。

理学療法は、薬と同じように、医師が医学的な必要性を判断して必要な方に処方が出されます。

最近注目されているロコモティブシンドローム(移動することが大変になった状態)には、理学療法が効果的です。

「膝や腰が痛くて、歩くことが大変」、「最近なんとなく転びやすい」、「洗濯物を干す時や高いところの物を取ろうとすると肩が痛い」など普段の生活の動作で体の不調がある場合には医師にご相談ください。



## 脳卒中相談窓口設置

当院は一次脳卒中センター (PSC) コア施設として「脳卒中相談窓口」を設置しました。

この相談窓口は、医療ソーシャルワーカーが脳卒中患者さまより医療や介護に関する相談を受け、適切な社会資源の情報提供等を行います。退院後の様々な不安やお悩みについて、お気軽にご相談ください。

- 窓口設置場所 4階外来受付カウンター①番【地域連携窓口・患者相談支援窓口】
- 電話でのお問合せ 045-984-3353 (直通)
- 受付時間 月～土 9:00～17:00 (休日を除く)



## WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座はホームページ、スマホ (QRコード) からいつでもご視聴いただけます。

WEB版  
みんなの健康講座  
バックナンバー



次回配信予定 WEB版みんなの健康講座

知っておいた方がよい胆嚢の病気 (仮)

外科・消化器外科 佐々木 一憲

